

補助事業番号 2023M-181
補助事業名 2023年度 医療機器の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人榊原記念財団

1 補助事業の概要

今回の申請機器である「D-SPECT Cardio」には高性能の多数の小型カメラが装備され、高速回転することで、従来のSPECTカメラでは実現しえなかった精度の高い心筋血流予備能の評価が可能となった。当施設では、 ^{99m}Tc -sestamibiにて心筋の血流分布に加えて、心筋血流予備能を評価することで難治性の心筋症の重症度評価を画像診断から得ることを計画している。心筋血流予備能の低下は予後の低下と相関することは知られており、こうした難病性心筋症の心筋血流予備能を評価することで重症度評価が可能であると考えられる。

「D-SPECT Cardio」は患者さんの体に負担が少なく、短時間で高精細な画像が撮影でき、以下のようなメリットがある。

- ・座った姿勢で検査ができ、腰痛や背中に痛みがある患者さんも苦痛なく検査を受けられる
- ・検査時間の大幅な短縮ができ、放射線被曝のリスクが低い。
- ・高精細な画像により適正、正確な診断が行える

当財団附属榊原記念病院は循環器専門病院であり、心筋症患者の治療の経験が豊富であり、また、半導体検出器であるD-SPECT Cardioを日本で初めて導入した施設でもある。導入当初より、当院の医師、技師は全国の同検出器を有する施設に画像プロトコール、解析法についての教育や啓蒙活動を行ってきている。したがって、当院が日本国内での半導体検出器を用いた心筋血流予備能評価によって、難病性心筋症の病期評価を行うことは国内で同検出器を所有する他施設にとっても有用となる。

2 予想される事業実施効果

半導体ガンマカメラによって、難病性心筋症の心筋血流予備能の評価を行うことで、病期の判定ができ、難病性心筋症の病期に応じた治療計画や管理を適切に行っていくことが可能となる。

3 本事業により導入した機器

①D-SPECT Cardio (フルデジタル心臓専用半導体ガンマカメラシステム)

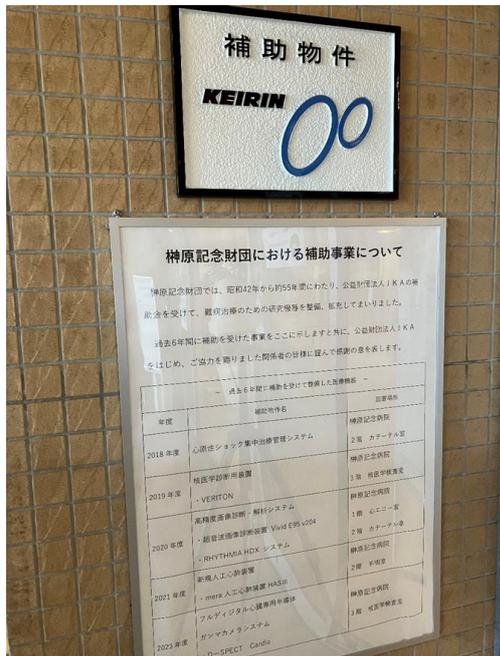
(URL <http://www.hq.heart.or.jp/wp/ki fuhojyo/>)

体内に投与されたガンマ線放出核種の心筋血流分布を検出し、断層像として画像化し、心筋血流、心機能の定量解析を行う機器である。虚血性心疾患の診断や病勢の評価、非虚血性心の診断をすることが可能である。また、局所での心筋血流量を絶対値として定量することで、負荷時と安静時の心筋血流量、その比である心筋血流比を計測でき、心筋血流予備能の評価により、心疾患の病期や予後判定を行うことが可能である。



設置場所：【公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 核医学検査室】

機器を設置している建物入口の補助標識



設置場所：【公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 正面玄関柱】

②本事業に係る印刷物等

2023年度事業計画書

ポスター（院内掲示）

当財団ホームページ（URL <http://www.hq.heart.or.jp/wp/>）

2023年度事業報告書（2024年9月頃完成予定）

榊原記念病院1階ロビー待合室大型モニター（放映中）

院内広報誌「心をつなぐ」（全職員配信）

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人榊原記念財団

（コウエキザイダンホウジンサカキバラキネンザイダン）

住所： 〒183-0003 東京都府中市朝日町三丁目16番地の1

代表者： 理事長 矢崎義雄（リジチョウ ヤザキヨシオ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 主任 植村千春（シュニン ウエムラチハル）

電話番号： 042-367-4045

F A X： 042-367-4043

E-mail： cuemura@hq.heart.or.jp

U R L： <http://www.hq.heart.or.jp>